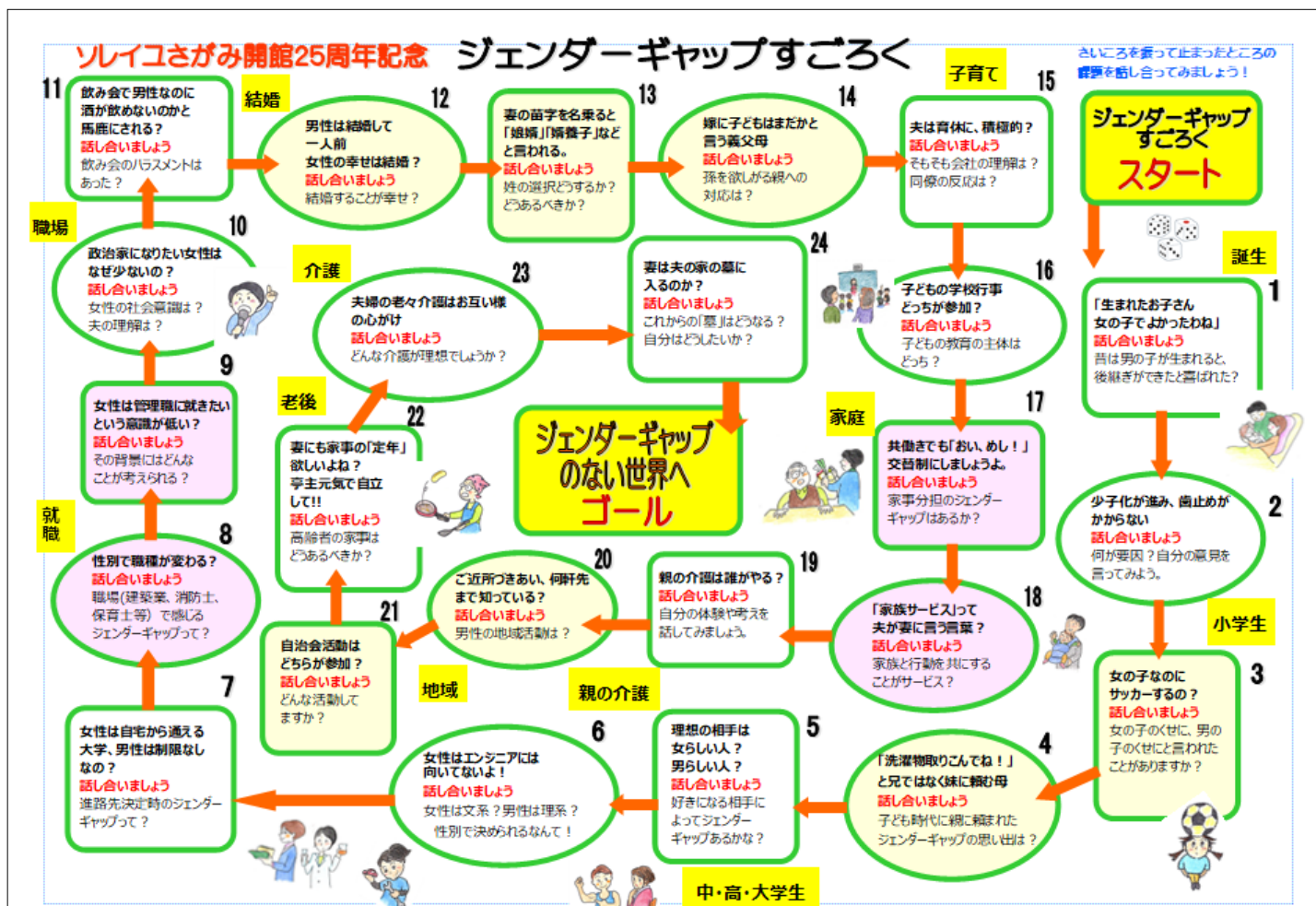


ソレイユニュースレター 発行日:令和7年10月15日 発行部数:1000部 発行人:福原 信広 編集製作:情報委員会
発行所:相模原市立男女共同参画推進センター 〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本6-2-1(シティ・プラザはしもと内)

ソレイユさがみ開館25周年記念事業「ジェンダーギャップすごろく」作成

一人ひとりが自分自身の“ジェンダーバイアス”に気づき、課題認識を共有する手段として作成しました。



パネル展を開催し、各コマのテーマについて意見や感想を多くの皆さんからいただきました。

この「ジェンダーギャップすごろく」は12のジャンル「誕生」「小学生」「中・高・大学生」「就職」「職場」「結婚」「子育て」「家庭」「親の介護」「地域」「老後」「介護(自分)」に分け、24のテーマを出しました。テーマ1から12までは10代からのコメントが多く、テーマ13からは60代以降の方のコメントが多くありました。主なコメントを紹介します。

- ◎「誕生」では、テーマ1で「このように言われていたことを知らなかった」(10代)や、テーマ2で「子どもが欲しい人が少なくなっている。結婚して子どもを持つのが当たり前から多様な価値観が認められるようになった」(40代)など。
- ◎「中・高・大学生」「就職」では、テーマ6で「性別で分類するのは違う。自分がやりたいことをやればいい」(10代)や、テーマ9で「家に帰って食事の準備、家のことがあるので早く帰りたい。責任が多くなると帰れなくなって困る」(40代)など。
- ◎「結婚」「子育て」「家庭」では、テーマ12で「若いうちはやりたいことや仕事にやりがいを感じていたら結婚＝幸せとはならないと思う。しかし、年を重ねたときに長年つきそったパートナーの存在は貴重で最終的に「幸せだったな」と思えるのではないか」(10代)など。
- ◎「親の介護」「地域」「老後」「介護(自分)」では、テーマ19で「親の介護はなるべくしたくないです。老人ホームに行ってほしい」(10代)や、テーマ24で「そもそもお墓って必要？“墓じまい”の話をよく聞くので…」(60代)や「夫の両親の墓に入るのに消極的。どうするか未定」(70代)など。



すごろくデータ

「ジェンダーギャップすごろく」 ワークショップの報告



ソレイユさがみ開館25周年記念事業ソレイユフェスタ2025の最終日にワークショップ「ジェンダーギャップすごろく」を開催しました。「ジェンダーギャップすごろく」を題材に、4～5人のグループですごろくゲームをしながら、止まったコマの課題をみんなで話し合いました。

参加者は年代も性別も様々、まさに多様性の時代の意見、感想等が寄せられ、私たちの身近にあるジェンダーについて話し合いができました。すごろくのテーマが古すぎるという指摘もありましたが、これはあくまで話し合いのきっかけですので、その中で現在の状況等ご意見をいただき、皆で共有することが大切だと思いました。今後もワークショップ等を定期的に行い、多くの方の意見、感想等を収集して今後の男女共同参画事業に反映してまいります。

(情報委員会)

ソレイユ マルシェに出店 ハンドメイド作家のご紹介

※ ソレイユマルシェは、ハンドメイド作家による手作り品の販売を月2回開催し、作家の起業と地域活動の応援をしています。

※ マルシェに6回以上出店している作家がワークショップの講師となり、活躍しています。

詳細はソレイユさがみまでお問合せください。TEL : 042-775-1775

水野 美帆 さん (『ダイヤモンドリリー』主宰)

アーティフィシャルフラワーを使って、ワークショップを季節に合わせてソレイユで開催させていただいています。それぞれの方の作るもの、イメージなどが違うと思うので、選んで考えて楽しんで作っていただけるように企画させて頂いています。お時間がございましたら是非、ご参加ください。



長谷川 明子 さん

私は薔薇が大好きで、オリジナルの薔薇の絵を描いています。イメージをしながら楽しくアレンジをしています。フリーハンドで、描いていますので、一筆一筆、集中して心を込めて描いています。皆様の毎日の生活が、イキイキと楽しくなるような、元気なパワーを届けたいと思っています。これからの人生が薔薇色に送れますようにと、願いを込めながら描いています。



若狭 水紀 さん



可愛いものを作るのが大好きな娘が、ビーズやレジンで遊び始めたのがハンドメイド作家になるきっかけでした。制作が好きな子どもたち、なかなか家ではできないママ・パパに喜んでいただけたらと思います。

今回『キラキラビーズのカチューシャ&ボールペン作り』の講師をさせていただきました。今後も6歳になる娘とともに、みんなが笑顔になるような企画や作品作りを続けてまいります。

金井 彩子 さん (アーティフィシャルフラワーデザイナー)

アーティフィシャルフラワー（まるで生花のような高品質な造花）を使い、リースやアレンジメントを制作、レッスンを行っています。デザイナーとして「彩り」を大切に、心がふっと軽くなるような癒しの色合わせで作品を制作しています。仕事や育児の合間に、ほっと和む時間と小さな幸せをお届けします。[大切な自分時間]をお花で癒されながら一緒に過ごしませんか。



編集後記 四季のなかでも美しい紅葉の季節には楽しいイベントが盛りだくさんです。記録続きの暑い夏が急に肌寒くなり、今年も残り少なくなつと感じます。今号は「ジェンダーギャップすごろく」についての内容となりました。タウンニュースを皮切りに新聞社から取材を受け、ここまでの反響をいただき、より多くの方にコミュニケーションツールとして役立てられることを願っています。



(湯田、加賀谷)